

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月14日

堺市長 様

住 所 大阪府堺市堺区匠町1番地

提出者

氏 名 コーニングジャパン株式会社
堺工場長 澤村 将宏

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072-222-3900

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	コーニングジャパン株式会社 堺工場
事業場の所在地	大阪府堺市堺区匠町1番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	22: 窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	-
③ 従業員数	342人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(日本工業規格 A列4番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業 廃棄物の種類	①燃え殻（有害） B工程	②強酸 G工程
	排出量	0 t	1 t
	（これまでに実施した取組） ・平成22年度 新設備導入による廃棄物の追加（廃酸（強酸）G工程） ・生産効率の向上により、減量化を図る（廃酸（特）G工程） ・ISO14001運用の中で、環境負荷低減活動を実施している ・廃酸（強酸）G工程で使用する薬液の仕様変更による（特管）排出量削減		
②計画	【目標】		
	特別管理産業 廃棄物の種類	①燃え殻（有害） B工程	②強酸 G工程
	排出量	0 t	1 t
	（今後実施する予定の取組） ・強酸は製品分析（化学分析）及び設備の洗浄廃水であり、現在のところ、安全上のリスク、排出工程を考慮して大幅な削減は難しい。 ・ばいじん（有害）の増加については、定期的にはばいじんの性状確認（監視：有害金属の溶出値を確認）を実施している		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・専用の保管容器（密閉）で保管している
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・特になし

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

③強アルカリ G工程	ばいじん (有害) H工		
0.3 t	120 t	t	t

②計画

③強アルカリ G工程	ばいじん (有害) H工		
0.3 t	100 t	t	t

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	①燃え殻（有害） B工程	②強酸 G工程
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	①燃え殻（有害） B工程	②強酸 G工程
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	①燃え殻（有害） B工程	②強酸 G工程
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
（これまでに実施した取組）			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	①燃え殻（有害） B工程	②強酸 G工程
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組）			

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

③強アルカリ G工程	ばいじん (有害) H工		
t	t	t	t

②計画

③強アルカリ G工程	ばいじん (有害) H工		
t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

③強アルカリ G工程	ばいじん (有害) H工		
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

③強アルカリ G工程	ばいじん (有害) H工		
t	t	t	t
t	t	t	t

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	①燃え殻（有害） B工程	②強酸 G工程
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	①燃え殻（有害） B工程	②強酸 G工程
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	①燃え殻（有害） B工程	②強酸 G工程
	全処理委託量	0 t	1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	1 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	1 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・委託基準（日本法令基準、本社基準）を遵守できる産廃処理業者を選定しており、定期的に処理状況の現地確認を行っている。（継続）		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

③強アルカリ G工程	ばいじん (有害) H工		
t	t	t	t

②計画

③強アルカリ G工程	ばいじん (有害) H工		
t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

③強アルカリ G工程	ばいじん (有害) H工		
0.4 t	157 t	t	t
0.4 t	157 t	t	t
0.2 t	0 t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	①燃え殻（有害） B工程	②強酸 G工程
	全処理委託量	0 t	1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	1 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	1 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・ばいじん（有害）の性状確認（監視：有害金属の溶出値を確認）			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く)	159 t	
(今後実施する予定の取組) 特になし			
※事務処理欄			

②計画

③強アルカリ G工程	ばいじん (有害) H工		
0.5 t	154 t	t	t
0.5 t	154 t	t	t
0.3 t	0 t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トンを超える者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

今年度【令和6年度】目標

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府堺市堺区匠町1番地	コーニングジャパン株式会社堺工場	安全環境技術課				

特別管理産業廃棄物の種類		計画の実施状況																								
コード	名称	① 排出量(t)	② 自ら直接再生利用した量(t)	③ 自ら直接埋立処分した量(t)	④ 自ら中間処理した量(t)	⑤ ④のうち熱回収を行った量(t)	⑥ 自ら中間処理した後の残量(t)	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t)	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t)	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分した量(t)	⑩ 直接及び自ら処理した後の処理委託量(t)	⑪ = ① - ② - ③ - ④ + ⑥ - ⑧ - ⑨ = ⑩ + ⑪ + ⑫ + ⑬					⑭ + ⑮	⑯ + ⑰								
												⑫ 再生利用者への処理委託量(t)	⑬ 熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	⑮ その他の中間処理委託量(t)	⑯ 埋立処分委託量(t)			⑰ 優良認定処理業者への処理委託量(t)	⑱ ⑭と⑯の量を合計した量(自動計算)						
1	7424 ①燃え殻(有害) B工程	0								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2	7100 ②強酸 G工程	1								1	1															
3	7200 ③強アルカリ G工程	0.3								0.3	0.3															
4	7429 ④ばいじん(有害) H工程	100								100	0															
5										0																
6										0																
7										0																
8										0																
9										0																
10										0																
11										0																
12										0																
13										0																
14										0																
15										0																
16										0																
17										0																
18										0																
19										0																
20										0																
合計		101	0	0	0	0	0	0	0	0	101	1	0	0	0	0	0	0	0	100	101	0	0	0	0	0

(注) トン未満は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。